

共同募金 助成事業 歳末たすけあい「食の応援プロジェクト」

生活に困窮する方が増える中、地域のたすけあいの輪を広げるために社協が食品・物品の提供を呼びかけたところ、114の個人・団体・企業の皆様から多くの品物をお寄せいただきました。ありがとうございました。



物品等を提供いただいた皆様 (50音順、敬称略)

(株)足立音衛門、円覚寺、(株)長田野ガスセンター、各地区民生児童委員協議会、(株)さとう、サンキン株式会社、浄願寺ともしび会、タツタ電線(株)、日本製紙クレシア(株)、(一社)Farm SASUGA、福知山市役所役職員、福知山市社協役職員、福知山地区更生保護女性会、立正佼成会福知山教会、ほか匿名団体・企業・個人の皆様



地元企業の皆様からもたくさんのお品をお預かりしました!



ご協力いただいた品物は、市内8団体の見守り活動等で351名にお渡しいただくとともに、12月22日の社協「食の応援パックお渡し&相談会」で、温ったか京都寄り添いワーカーと社協ふれあい福祉相談員の皆様でお話をお聞きしながら、167世帯407名にお渡しさせていただきました。

アンケートより
一部抜粋

子どもがたくさんいるので、
今回のような食に関する取組はうれしいです。



私たちは、コロナ特例
貸付借受世帯等への相談支援を行う
あ
「温ったか京都寄り添いワーカー」
です!



ボランティアの方による袋詰風景



仕分けや袋詰めでは福知山地区更生保護女性会と個人ボランティアの皆様大変お世話になりました。

11月3日の夜久野ふれあいきいきフェスタでは各関係機関・町内の方々から昨年を上回る食品等をお寄せいただき、夜久野地区のご希望の方へお渡しすることができました。ご協力ありがとうございました。



夜久野支所
フードバンク事業

共同募金 助成事業

しあわせ



No.214

令和7年
(2025)

2月20日



福知山ハーモニカ同好会 厚生労働大臣表彰を受賞

昭和53年に発足以来、46年にわたり福祉施設などで演奏活動に取り組んでこられた「福知山ハーモニカ同好会」が令和6年11月26日にボランティア功労者として厚生労働大臣表彰を受賞されました。ご受賞おめでとうございます。足立会長は、「長く活動を続けてこられた先輩の方々のおかげでいただくことができました。」と話しておられました。今後とも、皆さまのご活躍をお祈りしております。



会員を募集されています!興味・関心のある方は、お気軽に社協までお声がけください!

■ 記事に関すること、その他お問い合わせは...

社会福祉法人 福知山市社会福祉協議会 〒620-0035 福知山市宇内記10番地の18 (福知山市総合福祉会館内) Eメール: fuku-shakyo@coral.broba.cc			
地域福祉課、権利擁護センター TEL.0773-25-3211 FAX.0773-24-5282	介護支援課 TEL.0773-23-1333 FAX.0773-23-8555	夜久野支所 TEL.0773-38-1200 FAX.0773-38-1230	大江支所 TEL.0773-56-0224 FAX.0773-56-1654
三和支所 TEL.0773-58-3713 FAX.0773-58-3732	三和グループデイホーム TEL.0773-59-2025 FAX.0773-59-2026		



広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金を活用し、制作しています。



フェイスブックに
地域の情報を掲載!



2ページ	新年のごあいさつ、共同募金へのご協力お礼	6・7ページ	地域のとりくみ
3・4ページ	社協のとりくみ	8ページ	地域のつながり
5ページ	社協のとりくみ・善意の寄付		

おたがいさまでつながる ～地域社会の構築～にむけて

社会福祉法人 福知山市社会福祉協議会

会長 夜久 豊基



皆様方におかれましては、平素から社会福祉協議会の運営に、格別のご理解とご協力をいただいておりますことを、心より感謝申し上げます。

去年は、元日に発生した「能登半島地震」や8月の「南海トラフ地震」の臨時情報の発令、11月に入ってから「夏日」が続くなど、自然災害や気候変動によるトラブルが頻発した一年でした。

社会福祉協議会としましても、いつ何時発生するか分からない大規模災害等に対して、昨年度策定しましたBCP(事業継続計画)に基づき、しっかりと対応していく必要があると考えております。

また、昨年12月には、令和3年度から始まり4回目となります「食の応援プロジェクト」を実施しましたところ、多くの個人・団体・企業の皆様から食品・物品を提供いただき、物価高騰等により生活に不安を感じておられる方々への生活支援の一助とさせていただくことができました。

皆様の多くのご支援、ご協力に、心より感謝申し上げます。

社会福祉協議会は、今年も地域住民の皆様と共に協議・協働して策定いたしました「第4次地域福祉活動計画(令和5年度～9年度)」に基づき、全力で地域福祉活動を推進してまいります。地域福祉の活動は形あるものではなく、すぐに成果が現れるものでもありません。5年後10年後を見据えて、誰もが住み慣れた地域で、おたがいさまでつながる地域社会の構築にむけて、皆様と一緒に悩みながら歩んでまいりたいと考えております。

これからも、社協地区担当職員や地域支援コーディネーターが地域に出向き、住民の皆様が主体となった地域福祉活動をしっかりと応援させていただきますので、今後とも変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

赤い羽根共同募金
歳末たすけあい募金



ご協力ありがとうございます

皆さまからお寄せいただいた募金は福知山市内のさまざまな福祉活動に役立てられています。詳しくは共同募金のホームページ「はねつと」をご覧ください。



令和6年度の街頭募金・イベント募金の様子

200円以上の募金で
1回チャレンジできる
「赤い羽根ガチャ募金」
総合福祉会館に
設置しています！
(平日9～17時)

募金箱設置
協力店・施設・企業を
募集しています！



気軽にできる
地域貢献！

現在市内
82ヶ所に
設置！

事務局が募金箱の設置と回収をいたします。

【お問い合わせ】福知山市共同募金委員会(事務局:社協) TEL 0773-25-3211 FAX 0773-24-5282

とりくみ 社協

社協の地域福祉活動の一部をご紹介します。

10/27(日) 福知山市災害ボランティアセンター立上げ・運営訓練

この日は陸上自衛隊福知山訓練場を主会場に、近畿府県合同防災訓練、京都府総合防災訓練など4訓練が同時に実施されました。災害ボランティアセンター運営訓練は、副会場である三段池公園の総合体育館前広場にて、支援二一ズの受付からボランティアの受付、派遣調整、送り出し、活動終了報告まで一連の訓練を通して実施しました。

京都府災害ボランティアセンターとも協働し、二次元コードを使用したボランティアの受付、携帯アプリによるセンター本部とボランティアとの連絡などICTを活用した訓練も行いました。

いつ起こるか分からない災害への日ごろからの備えとして、今回の訓練で見た課題について、しっかり対策し、今後のセンター運営に活かします。



10/9水、10/23水、11/6水、11/20水

老いじたくカレッジ

「高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、また元気に歳を重ねられるように役立つ情報を提供する」をコンセプトに『老いじたくカレッジ』を開催し、“シニアのための片づけ教室”“オーラルフレイル～歯と健康とわたし～”“看取りについて”“笑いヨガ”の全4講座を行いました。受講された方からは「これからの暮らしに活かそう」「生きるヒントがもらえた」など嬉しいコメントをいただきました。



11/14木

三和身体障害者交流会「みわの集い」

福知山市身体障害者団体連合会(身障連)三和支部との共催で、身体障害者交流会「みわの集い」を三和荘で開催しました。

身障連三和支部会員と、三和地域連絡会議、三和地区民生児童委員協議会の委員、ボランティアの皆さんなど、総勢39名で交流しました。

午前中は「ボッチャ」で楽しく交流し、昼食のあとは「The SOWER」の皆さんによるステージの演奏を聴いて、楽しいひとときを過ごされました。



11/29金 要支援者避難生活サポーター
養成講座（夜久野会場）

高齢者や障害のある人など支援が必要な方々の避難生活をサポートする有償ボランティアの養成講座を、夜久野ふれあいプラザで開催し、37名の方に受講いただきました。要支援者へのコミュニケーションの基礎的な内容や、福祉避難所での活動も想定した演習等を行いました。

また12月8日(日)に行われた、夜久野地域の要支援者を対象とした避難訓練では、講座を受講された16名の方が参加され、避難所の設営や体調の聞き取り等サポーターの活動を実際に体験していただきました。



難所の設営や体調の聞き取り等サポーターの活動を実際に体験していただきました。

12/14土 親子手話教室 共同募金 助成事業



福知山聴覚障害者協会や手話サークルなどの団体と「手話広めたい話し隊」を組織して、毎年実施しています。今回は、市内の小中学生とその保護者計10組26名（子ども：14名、大人：12名）の参加がありました。

寸劇を通して、「聞こえないことで、どんな困りごとがあるのか？」や、手話で自分の名前をどう表現するのかなど、親子一緒に興味津々で学んでおられました。



12/9月～13金 三和支所
グループデイお楽しみ会

ご利用者の皆さんと一緒にビンゴゲームやクリスマスケーキのデコレーションをして、最後にお菓子の詰め合わせのクリスマスプレゼントをお渡ししました。

職員も一緒にとても楽しい一日を過ごすことができました。



12/14土 大江見守り訪問事業 共同募金 助成事業

民生児童委員や地域ボランティアの皆さんと一緒に75歳以上のひとり暮らし高齢者148名のご自宅を訪問し、大江学園の児童・生徒からの写真の入ったメッセージやお弁当等をお届けしました。「お元気そうですね」「何かあったら言ってくださいね」などと気遣いの言葉をかけたり、笑顔でお話してくださったり、ほっこりとしたひとときでした。



12/9月 障害のある当事者・当事者家族から学ぶ福祉を考える会 共同募金 助成事業

この会では、様々な想いを抱えておられる障害のある当事者・当事者家族からのお話を通じて、知る・学ぶことで、地域で誰もがともに暮らしていけるために何が大切なのかを、参加者の皆さんと考える機会になることを目的に実施しました。

今回、ゲストスピーカーとして、亀岡市に在住の脇坂武志さんをお招きしました。脇坂さんは、小児がんの後遺症のため車椅子を利用されている小学6年生の娘さんとともに暮らしておられます。生まれた頃からこれまでの子育てに関すること、家族としての葛藤や悩み、娘さんとの暮らしを通じて学んだことなど、様々な実体験をもとにお話を聞かせていただきました。

当日はご家族で一緒にお越しくださり、とても仲のよい温かい家族のご様子に、幸せな気持ちにさせていただきました。



善意の寄付 ありがとうございました

令和6年9月21日～
令和7年1月20日(敬称略・受付順)



こちらの内容は、個人情報保護の為、
ホームページへの掲載は自粛させていただきます。



10/21(月) 大江ボランティアフェスタ



大江地域公民館にて、大江地域で活動されているボランティアや、サロンの関係者の方々が参加し、モルックを体験されました。「頑張って!」「ここ狙って」等、チームで声を掛け合って楽しく交流されました。

10/23(水) 段ふれあいサロン (長田段)



社協の貸出用品を使い“秋のスポーツ大会”として、ボッチャ・スカットボール・わなげのコーナーが設けられました。参加者の皆さんは、各コーナーを回りそれぞれの競技を体験され、スポーツの秋を楽しまれています。

11/3(日) ふれあいいきいきフェスタ(夜久野公民館まつり)



社協ブースでは、職員が手作りした脳トレ問題や色合わせゲーム等を、体験していただきました。参加した子どもさんが、大人が考えつけない遊び方もしておられ、豊かな発想に感動しました。これらのレクリエーション用品は夜久野支所で貸し出ししています。お問い合わせください。

12/19(木) 拝師ふれあいサロン



この日は、クリスマス会を開催されました。お世話役さんによる手作りお弁当や、地域内グループバンドによるクリスマスメドレーの演奏、最後はプレゼントをかけたじゃんけん大会と盛りだくさんでした。プレゼントをもらった皆さんは「何がはいつとった?」とお隣の方と見せ合い、笑顔溢れる時間を過ごされました。

12/19(木) 昭和地区「赤ちゃんサロン」



今年度から赤ちゃんサロンがスタート。第2回目の今回は、ミュージックベル、ベビーマッサージ、英語で読み聞かせと楽しいクリスマス会になりました。フリートークでは、地域の子育て情報の交換や様々な世代の方との交流の輪が、にこにこ笑顔の赤ちゃんを中心に広がりました。

12/22(日) 金谷地区福祉推進協議会 お飾り講習会



今回初めての取り組みとして地域の方を講師に「お飾り講習会」が開催されました。藁を編んでいく力加減などによりでき上がりの大きさや形は様々で、皆さんそれぞれ新年に願いを込め、素敵なお正月飾りを作成されました。

11/10(日) 福知山「がんばろう会」×舞鶴「ひまわり会」卓球バレー交流会



福知山の卓球バレーチーム「がんばろう会」と、舞鶴のチーム「ひまわり会」の交流試合が行われました。両チームの交流会は、平成20年から年に1回、交互に招待し合いながら開催されています。最近、コロナ禍の影響もあり中止が続いていましたが、今回7年ぶりの開催となりました。

11/13(水) 上六人地区福祉推進協議会 介護予防リハビリ講座



京都私立病院協会のリハビリ専門職の方々により、介護予防を目的とした日頃からできる体操や脳トレ、嚥下体操等の講座が実施されました。介護のポイントについてのお話もありました。35名の参加があり、楽しみながら学び合う時間となりました。

11/21(木) 佐賀地区福祉推進協議会「ふれあいサロン研修旅行」



佐賀地区でサロン活動をされている団体の皆さんが、年1回、お互いの交流などを目的に研修旅行をされています。今年は地域の特産物を活用されている市外の薬膳料理のお店に伺う等され、親睦を深められました。毎年この機会にだけ会うという方々もおられ、貴重な機会となっているようです。

11/21(木) 金山地区福祉推進協議会 視察研修



透き通った青空の下、舞鶴の引き揚げ記念館を訪れました。戦後80年を経て、展示されている手紙や食器等が抑留時の厳しさ悲しさを鮮明に物語っており、当時の人々の辛く厳しい生活を肌で感じることができました。普段の生活ではじっくり向き合うことのない「戦争」について考える機会となりました。

11/21(木) 西佳屋野ふれあいサロン



この日は雀部小3年の児童が自分の住む地域で行われているサロンを訪問する『雀っ子サロン』が実施されました。子どもたちの進行のもとゲームなどで楽しく交流され、サロンの参加者さんも、子どもたちも、終始笑顔で過ごしていました。

12/4(水) 三和カラオケサークル クリスマスのど自慢大会



この日はカラオケサークル登録の方々が集まり、クリスマスのど自慢大会を開催され、皆さん、素晴らしい歌声を披露されました。観覧に来られた方もおられ、会場は、笑顔と拍手に包まれ、楽しい時間を過ごされていました。

ちいきクローズアップ

10/26(土) 交流が生み出す気づきを
～次へのつながりに! 合同研修交流会

桃映地区及び惇明地区民生児童委員協議会、福知山市視覚障害者協会、NPO法人 視覚障害者支援ネット・チームまなざしの皆さんが、総合福祉会館で合同研修交流会を開催されました。



前半は、視覚障害当事者の方3名から発表がありました。「困難さに違いはあるけれど支えあい情報を伝え合って視覚障害者協会の活動が続けておられる様子」「視覚障害の区分を全盲と弱視に分け、弱視の見え方の疑似体験をしながら見える具合は千差万別であること」「大きな事故の体験や、農園活動やおはぎ作り等生活の中で実践されていること」について、それぞれお話しをされました。

後半は、2グループに分かれて、交流と話し合いの時間でした。視覚障害当事者の方等が生活のご様子を話されながら、民生児童委員の皆さんからの質問に答えるなど、活発に交流されました。

交流での質問と回答を一部ご紹介します。



A 交差点など動けずにいたら「お手伝いしましょうか」と声をかけてもらえたらうれしい。

Q 白杖を持っておられる方や、持っておられないけれど視覚障害のある方への対応は?



A 太陽光線の加減で信号の色が見えない時があるので「渡れますよ」と声をかけてもらえたら助かる。

A 白杖を家の近くではつきたくない人もいいることを理解してほしい。